

FURUTECH

Review

Stereo

2016 February - JAPAN



Stereo
試聴室
話題の新製品を
聴く



●USB 対応 DAC/ADC 搭載デジタルプリアンプ

ADL STRATOS ¥139,800

プロフィール

USB 対応 DAC とアナログソースのデジタル録音が可能な A/D コンバーターなど多彩な機能を搭載。USB 入力は DSD が 11.2MHz、PCM は最大 384kHz/32bit まで、RCA と TOS は 192kHz/24bit まで対応。アナログ入力はラインレベルに加えて MM/MC に対応したフォノ入力も装備。出力はレベル可変で RCA と XLR を 1 系統ずつ持ち、ボリューム位置はデジタル表示される。ヘッドフォン出力は標準ステレオジャックとバランス駆動に対応した 4pinXLR 端子を装備する。A/D コンバーター機能によりレコード音源を含めたアナログソースを最大 192kHz/24bit のデジタルデータ化が可能で、録音ソフトを用意すればハイレゾ PC 録音が可能である。

SPEC

- デジタル入力端子：USB TypeB × 1、RCA × 1、TOS × 1
- 対応サンプリング周波数
USB(PCM)= 最大 384kHz(32bit)
USB(DSD)=2.82/5.64/11.2MHz(1bit)
RCA/TOS= 最大 192kHz(24bit)
- USB 録音：最大 192kHz/24bit
- デジタル出力端子：TOS × 1
- アナログ入力端子：RCA(ライン× 1、フォノ MM/MC × 1)
- アナログ入力レベル/インピーダンス
ライン=2V/47k Ω、MC=0.4mV/100 Ω、MM=4mV/47k Ω
- アナログ出力端子
RCA × 1、XLR × 1、標準ヘッドフォンジャック × 1、XLR(4pin/バランス) × 1
- ヘッドフォン出力(1kHz THD 1%)
XLR(400mW/12 Ω、800mW/16 Ω、1200mW/32 Ω、2200mW/56 Ω、
700mW/300 Ω、350mW/600 Ω)
6.3mm標準(1100mW/12 Ω、1400mW/16 Ω、1000mW/32 Ω、
820mW/56 Ω、190mW/300 Ω、100mW/600 Ω)
- 周波数特性：20Hz ~ 20kHz ± 0.5dB
- SN 比：90dB 以上
- 電源：USB バスパワーおよび AC アダプター
- 大きさ：215W × 64H × 180Dmm
- 重さ：1.33kg
- 問い合わせ先：フルテックTEL 03-5437-0281
- ウェブサイト：<http://www.furutech.com/ja/>

鈴木裕 ★★★★★

透明感高く 付帯音が少ない

本機の使い方としてはPCと接続してUSB・DACとして使うことが最も多いだろう。また、アナログプレーヤーと接続してフォノイコライザーとして使うことも多いのではないかと考えられる。アナログ音源をファイル化できる点も注目の製品だ。USB・DACとして聴くと、ややハイバランスで、くっきりとした音を聴かせてくれる。透明感高く、付帯音のなさを最優先させているのも感じる。これはアナログ音源のファイル化というこの製品の成り立ちを考えると頷ける。細かく聴くと、クラプトンの『アンプラグド』の拍手はハジける感じが強く、手の数も多めに見える。ステージの照明が明るくなったかのように演奏の細部から歌のノリまで明晰に描いてくる。



USB入力はDSDが11.2MHz、PCMは最大384kHz/32bitまで対応、アナログ入力はラインレベルに加えてMM/MCに対応したフォノ入力も装備している
録音ソフトを用意すればレコード音源を含めたアナログソースも最大192kHz/24bitのハイレゾ録音が可能である

須藤一郎 ★★★★★

透明度にも優れ 素直な躍動感を聴かせる

ハイスベックなUSB・DACを搭載したデジタルプリアンプである。フォノ入力とADC搭載により多様なアナログ音源をデジタルアークイブすることも可能である。再現されるサウンドステージにはエネルギー密度の濃い音場の展開を体感することができて好印象。透明度にも優れた響きの拡散に支えられたサウンドイメージの定位感には、骨太さと素直な躍動感を聴くことができて心地よい。ウッドベースの迫力には緻密な表情をもイメージすることができ、パーカッションなどの軽快な弾み感には、見通しの良い音場の広がりや清涼な空気感がある。ストーリーングの艶っぽい響きの拡散も印象に残る。オーケストラのエネルギーが鮮やかな表現力は力強くも鮮明で頼もしい。

角田郁雄 ★★★★★

音像の表情を 解像度高く再現

本機の大きな特徴は、アナログとハイレゾ再生をコンパクトなサイズで実現していることだ。PC用の録音アプリを使えば、レコードのハイレゾ録音もできる。内部には、シーラスロジックのA/DコンバーターやESSの32ビット型DACチップを搭載し、高品位なオペアンプや高精度電子ボリュームを内蔵する。11・2MHz DSDやDXDに対応していることも特徴だ。本機のUSB再生の音質は、小型ながら、音像の表情を解像度高く再現し、中低域に厚みがある。これはDACチップの特徴が活かされているからだ。別の機会に11・2MHzのDSDも再生したが、このサイズとは思えない、生演奏に一步近づいたようなワイドレンジな音質にも感激した。



ヘッドフォン出力は標準ステレオジャックとバランス駆動に対応した4pinXLR端子を装備。ともに600Ωのハイインピーダンス駆動に対応している

山之内正 ★★★★★

音楽的な躍動感を 鮮やかに引き出す

すっきりと引き締まった低域と強調感のない自然な音調が持ち味だ。余分な演出や誇張がないので、一聴するとおとなしい音に聴こえるかもしれないが、楽器の音色をていねいに描き分けることや、リズム楽器の音形が音域によつてぶれない点など、音楽再生の基本的なマナーを確実に押さえていることに好感を持った。大編成のオーケストラ録音からは余韻の広がりなど空間情報を積極的に引き出し、特に奥行き方向の深さと距離感の忠実な描写に感心させられた。DSD音源では特にその自然な音調が生きて、演奏にそなわる豊かな起伏と音楽的な躍動感を鮮やかに引き出してくる。アコースティック情報を豊富に含む音源との相性の良さが光るD/Aコンバーターである。